ITES 一言ラジオ

vol.10
2026年11月号

テクニカル
サポートセンター
永田祐紀

お題「PCが壊れた！修理？置き換え？」

西田：さぁ今月も始まりました、ＩＴＥＳの一言ラジオ！
「生産終了品との付き合い方」「予備品」について学んだね。
永田：はい！
予備品があると安心ですが、それだけでは解決できない問題もあることが分かりました。
西田：その通り。
今回は設備の中でも特に相談の多い、
「ＰＣが壊れたら、どうしたらいいの！？」について話してみよう。

【壊れたら修理すれば解決？】

永田：ＰＣというと、事務所のパソコンをイメージするのですが、工場でもたくさん使われているんですか？
西田：もちろん！
例えば、
・設備の監視
・生産データの保存
・検査装置の制御
など、多くの設備がＰＣを使って動いているんだ！

永田：なるほど。設備の一部としてＰＣが組み込まれているんですね。でも壊れたら、修理すればよいですよね？
西田：そうだね。じゃあまずは修理については考えてみよう！
例えば、
・ＨＤＤやＳＳＤの故障
・電源ユニットの故障
・メモリの故障
・マザーボードの故障
など、原因はさまざまなんだよ。
永田：人間でいうと「どこが悪いのか診断する」と同じですね。
西田：その通り。修理できる故障であれば、まずは修理による復旧を検討するんだ。
永田：じゃあ壊れたときは、修理すればいいんですね！
西田：そうなんだけど、そう簡単ではないこともあるんだ。
古い産業用ＰＣの場合は、
・マザーボードが生産終了
・専用部品が入手困難
といった理由で修理が難しくなることもあるんだ。
永田：前回学んだ「生産終了品」の問題がここでも出るんですね。
西田：そうなんだ。
部品がないと、故障箇所が分かっても直せないことがある。

【修理ができなければ買い替えればＯＫ？】

永田：修理できない場合は、やっぱり買い替えですか？
西田：そう。その場合は、**「置き換え」**を検討することになるんだ！
例えば、
・同型機の中古ＰＣ
・後継モデル
・現行の産業用ＰＣ　などだね。
永田：なるほど。
買い替え、つまり置き換えれば簡単に解決ですね！
西田：そう思うよね？でも実はそうとも限らないよ。
古い設備では、
・Ｗｉｎｄｏｗｓ ＸＰ
・Ｗｉｎｄｏｗｓ ２０００
・専用アプリケーション
・特殊な拡張ボード
が使われていて、
置き換えることが難しいことも多い。

永田：新しいＰＣでそのまま動くとは限らないんですね。
西田：そう。選定を誤ると「ＰＣは動くけど設備が操作できない」というケースもあるんだ。だから置き換えの際は、ＰＣだけではなく設備全体として考える必要があるんだよ。

【まとめ】

永田：今回学んだことで印象に残ったのは、
ＰＣが壊れたときは、
「まず修理を考え、それが難しい場合に置き換えを検討する」
という流れが大切だということです。
また、置き換えも単なるパソコン交換ではなく、設備との相性まで考えないといけないんですね。
西田：その通り。
ＰＣ修理の目的はパソコンを直すことではない。
設備を止めないこと。これが一番大切なんだ。

次回のテーマ

【修理も置き換えも難しい！？エミュレーションという選択肢】

西田：でも実際には、修理もできず、置き換えも簡単ではない
そんな設備も存在する。
次回は、**「エミュレーションという選択肢」**について話してみよう。
永田：エミュレーションですか？
初めて聞く言葉なので、
ぜひ勉強させてください！

今日の一言

ＰＣを直すことが目的ではない。
設備を動かし続けることが目的だ。